

安全上のご注意 ■必ずお守り下さい。

■下記のような場所では使わないで下さい。機械や電池の品質が確保されなくなり、ケガをしたりする事があります。

・温度が＋5℃以上になる所（直射日光の当たる所や屋外、暖房器具の熱風が当たる所、火気に近い所など）や、温度が－1℃以下になる所（冬の戸外など）

※プラスチック部品や電池に劣化の起こる事があります。

・ちりやほこりの多い所や台所など多くの油を使用する所。
※空気中に舞上がったゴミが歯車や接点に挟まったり、霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が故障する事があります。

・大型テレビ、スピーカーの近くや強い磁気のある所。
※磁力の影響で進み遅れが生じたり、時計が止まったりする事があります。

・浴室など湿気の多い所。また、水のかかる所や加湿器の近くなど。

・振動のある所、不安定な所。
※落下や転倒により、けがや器物を破損する恐れがあります。

■時計を壁に掛ける場合は、取付ける場所に合った専用のフック等を使って確実に掛けて下さい。落下によりけがをする恐れがあります。

・掛け穴に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっている事を確認して下さい。

・時計は垂直な壁や柱に取り付けて下さい。時計に傾きがあると精度や機能が正常に働かない場合があります。

故障かな？と思った時に

■正常に作動しない時は、修理依頼の前に以下の事を確かめて下さい。

症状	考えられる原因	処置
時計が動かない	■電池が入っていない	■指定の新しい電池を＋の向きを確かめて、入れて下さい。 ■端子の表面を拭いて電池を入れ直して下さい。
	■電池が正しい向きに入っていない	
	■電池端子の接触不良	
	■電波受信中	■針が動き出すまでしばらくお待ち下さい。
時計が遅れる	■電池容量が少ない	■指定の新しい電池と交換して下さい。
	■電波受信の失敗	■本文中の「電波受信に失敗した場合」をお読み下さい。

■電波時計について

■電波時計

本製品は標準時刻電波を受信して、自動で時刻を修正します。

※標準時刻電波は独立行政法人・情報通信研究機構（NICT）の標準電波送信所より送信されています。標準時刻電波は、ほぼ24時間送信されておりますが、保守作業などの為一時的に送信が止まる場合があります。

※一度受信を行ってから次に電波を受信するまでは、内蔵されたクオーツの精度により作動します。常に正しい時刻を表示させるためには毎日の確実な受信を心掛けて下さい。

■受信範囲

本製品の受信可能範囲は、標準時刻電波送信所より半径約1000kmですが、標準時刻電波が届く範囲は、時間帯・季節・気候・地形など様々な条件により変化する場合がありますので、受信可能範囲内であっても受信が出来ない事があります。

※本製品は、福島局(40kHz)または佐賀局(60kHz)の電波を自動で選局して受信する両局対応モデルです。

※本製品は日本国外の標準時刻電波を受信する事は出来ません。

■受信範囲図

※この図は目安です。円の範囲内でも受信できない場合もあります。



■安定した受信のために

安定した強い電波を受信出来る場所・時計の向きを見つけて、その場所に時計を設置して下さい。また、受信中の時計は動かさない様にしてボタン操作などは行わないで下さい。

■受信が難しい場所

- 車・電車・飛行機など乗り物の中
- 鉄筋コンクリート造の建物の中や地下・高層建築物に囲まれている場所・山の谷間
- 高圧線・架線・飛行場の周辺など電波障害の発生しやすい場所
- テレビ・コンピュータ・冷蔵庫など家電製品の近く
- 使用中の携帯電話の近く
- 極度の高温または低温の状況下
- ケース・引き出しなどの中などが考えられますが、上記以外の条件も考えられますので、受信が難しいなと感じましたら前項の「安定した受信のために」を参照して下さい。

■電波の受信について

- 受信中の時計は動かさないで下さい。
- 受信が終了するまでに約3～16分程度かかります。
- 受信中はボタン操作をしないで下さい。
- 受信が正常に終了しているのに正しい時刻が表示されない場合は、受信中にノイズ等の影響により正しく設定されていない事が考えられますので、場所を変えて再度受信を行って下さい。
- 受信機能を多用すると電池を消耗し、電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

お手入れについて

■乾いた柔らかい布で軽く拭いて下さい。

■電池寿命が近くなると電池交換を行って下さい。時計を長くお使いにならない時は、電池を電池ボックスから外して下さい。

■ベンジン・アルコール等の溶剤、ミガキ粉、硬いブラシ等は使わないで下さい。変色・変形やキズを付ける恐れがあります。

保証・アフターサービス

■この時計はメーカー保証です。保証の内容については保証書欄をご覧ください。本製品の保証ならびにアフターサービスは、日本国内に於いてのみ有効です。海外での保証・アフターサービスは行っておりません。

■保証期間中、保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりしメーカーが無償で修理致します。必ず販売店名捺印の保証書を添えて修理をご依頼下さい。

■お買い上げ店へご持参またはお送り頂く際の運賃・諸掛り費用は、お客様にてご負担願います。

■保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間終了後の修理品は、ご希望により有償で修理を承ります。

■この時計の修理用部品は生産終了後5年間保有しています。この期間は、原則として修理が可能です。

※修理用部品とは、製品の機能を維持するための機械部品です。この修理用部品にはフレーム・ガラスなどの外装品、文字盤などは含まれません。

■修理が可能な期間は、ご使用状態により異なります。また、修理が可能な場合でも時計の精度は元通りにならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談の上、修理をご依頼下さい。

■修理の時、部品・その他すべての付属品は、一部代替部品を使用させていただく事もありますのでご了承下さい。

■保証期間外もしくは保証の対象とならない修理の際は、本体の修理代金の他に買い上げ店と修理工場との間の往復運賃・諸掛り費用をお客様にてご負担願います。修理代金が標準小売価格を上回る場合がありますので、お買い上げ店とよくご相談の上、修理をご依頼下さい。

■保証期間中、終了後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持込み願います。修理を依頼される時はお買い上げ店にご相談下さい。

■次のような場合には保証期間内でも有償修理になりますので、ご了承願います。

- ①本保証書のご提示がない場合。
- ②本保証書に販売店およびお買い上げ日の記入が無い場合。または、字句を書換えられた場合。
- ③誤ったご使用、不注意、不当な修理・改造、天災地変による故障や損傷。
- ④ご使用中に生じる外観上の変化（フレーム・ガラス・その他付属品のキズや変色等）

■付属の電池は保証の対象外です。

ご記入頂いたお客様の情報は、保証期間内のアフターサービス、及びその後の品質向上の為に利用させて頂く場合がございますので、ご了承願います。

この保証書により保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

電波クロック 取扱説明書

置掛時計兼用

Instruction Number G-TCH-3

■製造元■

株式会社クレファール

Phone：03-3552-2531 Fax：03-3552-2536

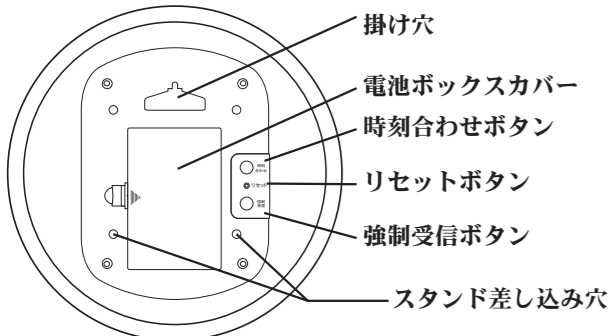
〒104-0041

東京都中央区新富1-15-3 新富ミハマビル6F

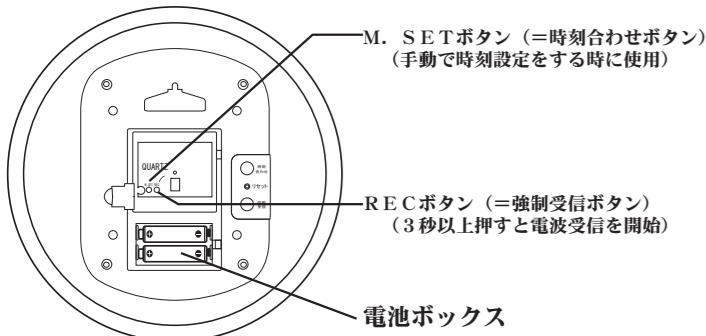
使用方法

- ※機種によりデザイン・形状（丸型・角型他）が異なる場合があります。
- ※本機は連続運針するので秒針のコチコチ音が気になりません。
- ※絶縁シートが電池と電池ボックスの間に設置されている場合は、取り除いて下さい。

■時計裏面（電池ボックスカバーあり） ■各部名称



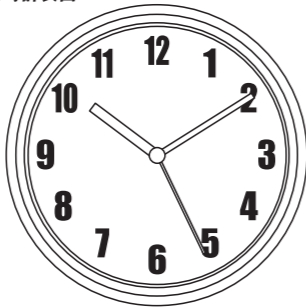
■時計裏面（電池ボックスカバーなし）



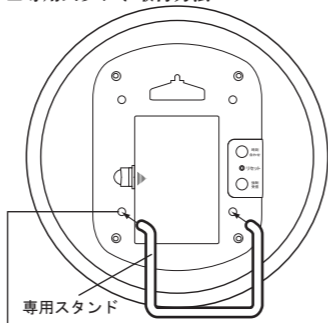
■注意

- 時計表面をきれいにお使い頂く為に、乾いた柔らかい布でサッと指紋を拭き取って下さい。
- 時計が遅れたりするなど、正常な動作を示さない時には、電池切れの可能性がありますので、電池交換を行って下さい。

■時計表面



■専用スタンド取付方法



※置き時計としてお使いになる時は専用スタンドを差し込み穴に差し込んでお使い下さい。

■ご購入後の時刻合わせ

1. 単三型電池2個を電池ボックスの＋表示に合わせて入れて下さい。
2. 秒針が回り始めて12時の位置で停止します。
3. 秒針の停止後、時針と分針も回り始め12時の位置で停止します。
4. 受信状態に入り、受信完了まで3～16分ほどかかります。

受信完了後、AまたはBの状態になりますので、以下に従って時刻合わせを行って下さい。

- A. 受信に成功した場合
すべての針が早送りして正確な時刻を表示します。
- B. 受信に失敗した場合
すべての針が12時の位置から動き出しますが、正確な時刻ではありません。以下の方法で、もう一度「時刻合わせ」を行って下さい。

1. 場所を変えて強制受信を行って下さい。
※強制受信については、「■電波受信に失敗した場合」の「●強制受信」をご覧ください。
2. 強制受信を行わなくても、12時16分頃に受信状態に入ります。受信に失敗すると、毎時16分頃に受信状態を繰り返します。それでも受信されない場合は、強制受信を行うか、手動による時刻設定を行って下さい。
※手動による時刻設定については、「■電波受信に失敗した場合」の「●手動による時刻設定」をご覧ください。

※電池を電池ボックスに入れた時に、秒針の位置が5～5.9秒にある場合は、秒針は一度6.0秒（12時の位置）を越えてから、12時の位置で停止します。また、時分針の位置が11時48分～11時59分の間にある場合は、時針が一度12時を越えてから、12時の位置で停止します。
※電波受信中はすべての針が止まったままになりますが、故障ではありません。
※受信が成功した後は、内蔵のクォーツにより時刻を表示します。

■電波受信に失敗した場合

※ご購入後の時刻合わせで正しい時刻を示さない場合や通常ご使用時に正しい時刻を示さない場合は、以下のいずれかの方法で時刻合わせを行って下さい。

●自動受信（翌日まで様子を見る）

※深夜は受信状況が安定します。

1. 毎日、午前2時16分頃、午前3時16分頃、午前5時16分頃に秒針が12時の位置で停止します。
2. 秒針の停止後、自動受信モードに入ります。
3. 受信に成功すると、針が早送りをして正確な時刻を表示します。受信に失敗した場合は、電波受信状態（秒針が12時位置で停止）から約16分後にすべての針が動き出しますが、正確な時間ではありません。

※自動受信中に秒針が12時の位置で停止しますが、故障ではありません。時・分針は少しずつですが動いています。
※自動受信が完了するまでに最多で約6分が必要です。

●強制受信（もう一度受信させる）

1. 強制受信ボタン（またはRECボタン）を3秒以上押しすると、すべての針が止まって強制受信モードに入ります。
2. 16分以内に受信に成功すると、針が早送りをして正確な時刻を表示します。16分以内に受信に失敗すると、すべての針が停止位置から動き出しますが、正確な時刻ではありません。

※電波受信中（すべての針の早送り中、及び秒針の12時位置での停止中）は、強制受信ボタン（またはRECボタン）を押さないで下さい。誤作動・故障の原因となります。

●手動による時刻設定（手動で時刻を合わせる：秒設定はできません）

1. 時刻合わせボタン（またはM. SETボタン）を3秒以上押し続けると、手動時刻設定モードに入ります。
（手動時刻設定モードに入ってから7秒以内に時刻合わせボタン（またはM. SETボタン）を押さなければ、針が再び動き出します。）

2. 時刻合わせボタン（またはM. SETボタン）を押し時刻設定を行います。時刻合わせボタン（またはM. SETボタン）を1秒以上押しすと、分針が早送りし、時刻合わせボタン（またはM. SETボタン）を放すと、分針が停止します。時刻合わせボタン（またはM. SETボタン）を一度ずつ押しすと、1分毎に分針が動きます。
3. 手動による時刻設定を行った後、翌日の午前2時16分頃、午前3時16分頃、午前5時16分頃に自動受信を行います。（秒針が12時の位置で停止）受信に成功すると、針が早送りをして正確な時刻を表示します。受信に失敗した場合は、電波受信状態（秒針が12時の位置で停止）から約16分後にすべての針が動き出しますが、正確な時間ではありません。

※電波受信中（すべての針の早送り中、及び秒針が12時位置での停止中）は、時刻合わせボタン（またはM. SETボタン）を押さないで下さい。誤作動・故障の原因となります。

■リセット操作について

ご使用中にすべての針が正確な時刻を表示しない場合は、リセットボタンをボールペンの先などで押して下さい。すべての針が12時の位置で停止して、「ご購入後の時刻合わせ」と同じ状態になり、再び受信を開始します。または、電池を抜いて「ご購入後の時刻合わせ」と同じ手順を行って下さい。

※受信状態や針が早送りしている時は電池を抜かないで下さい。故障の原因になります。

■秒表示について

秒針と文字盤の目盛りとで合わない場所がありますが、時計の性能への影響はありません。

■電池交換時期について

時計が遅れたりするなど、正常な動作を示さない時には、電池切れの可能性があるので、電池交換を行って下さい。

■時計の掛け方について

壁などに掛けて使用する場合は掛け穴をしっかりとフックに掛けて下さい。この際に使用するフックなどは、取付ける場所に合った物を専門店などでお買い求めいただき、その説明書に従って確実に取り付けて安全を確認した上で時計を掛けて下さい。

■電池について



■下記の事を必ずお守り下さい。電池の使い方を間違えますと、液漏れや破損の恐れがあり、機械の故障やけがなどの原因になります。

- [1] ＋－を確かめて正しく入れて下さい。
- [2] 製品仕様に表示した電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても、全て指定の新しい電池と交換して下さい。また、時計を使わない時に電池を入れたままにしておくと、古い電池からの液漏れなどにより機械が故障したり、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- [3] この時計に使用する電池は充電式ではありません。無理に充電すると液漏れや破損の恐れがあります。
- [4] 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けないで下さい。
- [5] 直射日光、高温・高湿の場所を避けて保管して下さい。
- [6] 使用済みの電池は速やかに処分、または幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- [7] 付属の電池は工場出荷時より付けられています。この電池は製品仕様に表示した電池寿命よりも早く切れる事があります。

■製品仕様

■時計精度（電波受信による時刻修正を行わない場合：内蔵クォーツ）
：平均月差±3.0秒以内（常温で使用）

■受信電波 : 標準電波 J J Y
周波数 : 40 kHz / 60 kHz (自動選局)
自動受信 : 1日3回

■使用温度範囲：-10℃～+50℃以内

■使用電池 : 単3電池 2個
※オキシライド乾電池には対応しておりません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。

■電池寿命 : 約1年
※使用状況により電池寿命が短くなる場合があります。

■製造国 : 中国

■セット内容 : 時計本体・単3電池・取扱説明書・専用スタンド

※この取扱説明書の内容は改良などのため、予告なしに変わる事があります。
※取扱説明書中の図は簡略化されているため実際の製品とは多少異なります。
※この時計によって生じたいかなる支出・損益、その他の損失に対しては、一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※この取扱説明書を弊社の許可なくして変更・複製することを禁じます。